

“真のパートナー”  
を目指して

# 縁の下の力持ちとして 患者さまと医師を結ぶ

## すべては 患者さまのために

私たちは、1963年に米国で設立され、世界135カ国で製品を展開する医療機器メーカー「クック・メディカル」の日本人として、2004年に設立されました。カテーテルなど患者さまの体への負担を軽減する低侵襲性医療の分野を中心に、日々、医師やその他医療関係者の皆さまをサポート

トしています。

クック・メディカルの企業理念は「利益追求ではなく患者さま第一」。医療の現場で、患者さまの治療に真剣に取り組んでいる医師たちは、損得勘定で動いていません。私たちも同じ目線に立ち、単に製品を販売するのではなく、「そこにいる患者さまが自分にとって一番大切な人だったら、どの医療機器が最適なのか」を常に考えるよう全社員に伝えていきます。

まの数は全世界で20000人程度、年間で5000個ほどしか出ません。そのため利益はほとんど見込めませんが、必要とする患者さまにとっては関係ないことです。こうした姿勢は多くの医療関係者から支持されており、「製品の種類、バリエーションにおいて、クックはすごい」との評価をいただいています。

このような信念のもと、患者さまのために医師と連携し、貢献することを目指しています。たとえば、海外で販売している子ども用の腸への栄養補給用チューブがあります。世界で私たちがしか製造していない製品なのですが、これを必要とする患者さ

また、理念実践のために、クックは株式非公開という企業形態を保っています。毎年、企業として成長していることから「上場してはどうか」という声も聞きますが、そうなると配当を求める株主の意向がどうしても大きくなります。「必要とする患者さまがいる限り、製品を提供し続ける」という姿勢にも影響が出てくることでしよう。企業として必要な経費以外は、患者さまが必要としている製品のための研究開発費などに充てることで、より良い製品を作り続けられることが、私たちの成長の原動力となっています。

営業スタッフには、「目先の成績や数字を求めて営業活動をすすめるのではなく、本当に患者さまのために考えるのしなさい。その積み重ねが医療関係者との真のパートナーシップにつながる」と常日頃から言っています。さらに、地方に駐在する社員とも直接会う機会を頻繁に設け、クックの理念、企業文化を全員で共有するよう努めています。

理念の実現には、それに心から共感し、行動に移せる社員一人ひとりの人間性が重要な要素であり、仲間を尊重し、チームとして働ける人が私たちの会社では必要な人材です。一緒にビジネスを進める代理店の皆さんとも理念、姿勢を共有することを重視しています。

すべては患者さまのために――、私たちはそこへ向かって真っ直ぐに進んでいきます。



Cook Japan株式会社 代表取締役 / 矢込和彦  
@CookMedicalJP

撮影: 鈴木和雄 (アトリエK2)

Cook Japan 株式会社 東京都中野区中野4-10-1 中野セントラルパークイースト TEL: 03-6853-9700

[www.cookmedical.co.jp](http://www.cookmedical.co.jp)

[www.facebook.com/cookmedicaljapan](https://www.facebook.com/cookmedicaljapan)

COOK<sup>®</sup>  
MEDICAL